

# KAIKAKU-PROJECT 2018

## 年次報告書

ANNUAL REPORT 2018

NPO法人改革プロジェクト



改革プロジェクト  
KAIKAKU PROJECT

# 2018年度のお礼とご報告

2018年度も活動へのあたたかなご支援をいただき、本当にありがとうございました。主力の事業であるパトランは、この一年で新たな展開エリアや人数も増え順調に成長を続けることができました。その反面、団体では、強固なチームづくりを目指し、基礎の部分を見直すことに時間を使いました。団体、スタッフ共に大きく成長することができた1年であったと感じています。

私事ではありますが、2018年9月に長女を授かりました。子どもができたことで、子どもへの事件や事故に対する捉え方が大きく変化しました。子どもが犠牲となってしまう悲しい事件があると他人事とは思えず、とても胸が痛みます。犯罪を抑止し、安心して暮らせる地域をつくることは親にとって最大の関心ごとです。そのことが心の底からわかるようになった今、これまで以上に意欲的に活動を推進していきます。



代表理事  
立花 祐平

## スタッフ挨拶



パトランJAPAN統括マネージャー  
時安 里江



広報ディレクター  
松田 愛子

皆様のご支援のおかげで、2018年度は幅広い活動を行うことが出来ました。たくさんの人の出会いや様々な事象との関わりは、私自身を大きく成長させてくれました。しかし、嬉しい悲鳴ではありますが、あまりにも急速な団体の発展に自分自身がついていけないという反省点もあります。自身の課題としては、今年取得した防災士の資格も活かしつつ、防犯から防災にも目を向けた地域安全に尽力を注いで行けたらと思っております。皆様のご期待に添えますように、まずは目の前にある課題からスマートにこなして行けたらと思います。本年度もどうぞ宜しくお願ひいたします。



総務ディレクター  
吉田 真二



ファンディングディレクター  
高堂 大輔

子2人の共働き世帯。なかなか当法人の活動には顔を出すことができず、悶々とした気持ちになることもありますが、このような世帯構成の方々であれば境遇は皆同じ。パトランが目指す「こどもや女性、お年寄りが安心して暮らせる地域を実現する」社会に少しでも近づくために、それに少しでも役立つために、2019年度も自分ができることを精一杯やっていきます。パトランが出来るのは月1回、半年に1回でも、継続できたらいい。甘いかもしれません、そんな人も受容されるような団体の雰囲気が醸成・継続されていくらいいなと思っています。

早いもので、改革プロジェクトに関わらせていただいた3年目の年でした。まずは今年度も私たちの活動に共感いただき、支えてくださった企業や団体、メンバーの皆さんに感謝申し上げます。2018年度は大阪マラソンチャリティランナーとして出走し、初のフルマラソン完走と、私自身にとって新しい事にチャレンジできた変化の年でした。次年度も皆様のパワーに触れながら、引き続き縁の下の力持ちになれるよう改革プロジェクトの取組みに精一杯尽力していく所存でございます。引き続きよろしくお願ひいたします。

改革プロジェクトを応援してくださっている皆様、また、活動に参加いただいた皆様、皆様のご支援のもと2018年度も無事に活動することができました。この場をお借りして御礼申し上げます。2018年度は団体として外部コンサルティングを招き、法人組織の内部体制の整備を行いました。活動が広がるにつれ、私たちの責任も大きく増えてきました。この勢いを衰えさせることなく進むには組織基盤の強化が必要を感じていました。コンサルティングの力も借りて、立ち止まり、振り返ることができ未来へ向けて体制を整え準備することができたと思います。2019年度は認定NPO法人の取得、オリンピックイヤーである2020年内には全国47都道府県にパトランを広めるという目標に向かって進んでいきたいと思います。本年も引き続き暖かなご支援、ご協力をいただけますと幸いです。

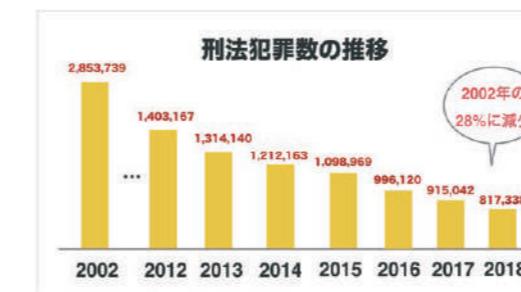
## そのまちで暮らす人たちとともに。

まちの課題を解決するのは外部の専門家や一部の有識者ではありません。その土地で暮らす人たちであると考えています。改革プロジェクトは、まちのために何かしたいと思っている人たちが活躍できる場を作りたいと考えています。



## 犯罪情勢

2018年度の街頭犯罪の認知件数は817,338件と過去最少となった。これはピーク時の28%となり犯罪数自体は年々減少している。しかしながら、1日あたり2,239件もの犯罪が起きていることになり楽観視できるものではない。社会的な孤立から犯罪に結びつくケースも散見され、地域に居場所や働く場所をつくるなど、広い視点で犯罪抑制を考えることが必要となってくる。



改革プロジェクトの活動で抑制を対象とする街頭犯罪



▲H30年度街頭犯罪数

## 環境

欧州で進んでいた脱プラスチックへの動きが、ようやく日本国内でも大きく加速した1年であった。スーパーでもビニール袋の有料化なども進みつつあるが市民レベルで見ると、まだ課題も多い感じる。街中や河川へのポイ捨てや海岸に漂着するごみの量には目に見えての変化はない。グローバルな環境改善への高まりとは明らかな温度差がある地域社会に身を置く中で、自分たちが為すべきことを模索した1年となった。



## 防災

「平成最悪の豪雨被害」と呼ばれた西日本豪雨。広い範囲で土砂崩れや河川の氾濫が多発し、甚大な被害となった。特に岡山県倉敷市真備町や広島県呉市での被害は大きく、被災地では今も約3,900世帯が仮設住宅で暮らし、復興に向けた工事が続いている。地方では、地域コミュニティが脆弱になり、隣近隣にどんな人が住んでいるのかも把握できていない状態となっている。災害時に機能する近隣との助け合いとなる互助を、パトランというコミュニティを通じて高めていくことが災害時に大きな地域の力になると感じる。



出典:一般財団法人消防防災科学センター



## パトランJAPANというチーム

パトランは活動するひとりひとりが主役となる活動です。パトランの運営は所属するメンバー皆で決めていくことを大事にしています。Tシャツのデザインの募集や年度ごとのスローガン、実施したいアイデアなど全国のメンバーに囲り、それを実現していきます。単に事務局が決めたことを行なっていくのではなく、パトランというものをどうしていくか、メンバーそれぞれが当事者意識を持って考えるプロセスがパトランの発展を支えています。

## パトランJAPANでの取り組み

### パトラン強化月間

毎年8月をパトラン強化月間として全国でのパトランを強化しています。スローガンや取り組みの内容などは、全国のメンバーから意見を募り実施しています。また8月10日は「パトランの日」として全国一斉にパトランを行う日として実施しました。

### パトランナーズサミット

パトランメンバーがパトランについて考えるワークショップ「パトランナーズサミット」を新たな取り組みとして開始しました。福岡と大阪、京都の3都市で実施。メンバーそれぞれの思いを共有したり、アイデアを出しあったり、みんなでパトランの未来や課題について向き合う場となり、仲間同士の絆を強固にしています。

### パトランスタディツアー

2019年1月12日に福岡県警本部と福岡刑務所へ訪問し学びを得る機会をつくりました。「パトランスタディツアー」としては普段の防犯活動の質を高めることを目的にしており、今後も全国各地でこのような機会を作っていくと考えています。



## 環境問題に目を向ける

TOTO 水環境基金を活用させていただき4年目、宗像環境国際100人会議に関わって3年目となりました。漂着物は相変わらず多い状況ですが、環境保全への意識を持ち行動する市民が少しづつ増えてきています。

### CLEANUP

#### 海岸清掃



TOTO 様との協働で、宗像市の深兵海岸清掃を2回、宗像環境国際会議の取り組みとしてさつき松原の海岸で1回の活動を実施しました。

実施回数 3回

宗像環境国際100人会議 8/25  
TOTOコラボクリーンアップ  
10/27,3/2

#### さつき松原



さつき松原に植林された松を守るために除草とごみ拾い活動を実施しました。

実施回数 2回

松林の管理運営  
6/24,9/24

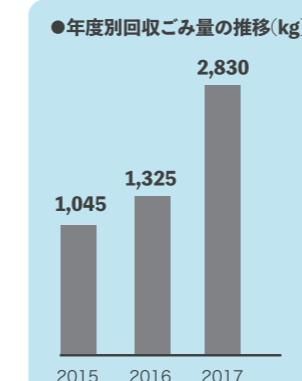
#### 河川清掃



宗像市内の小森川で、福島農園さんとのコラボレーションでの河川清掃を実施しました。

実施回数 1回

福島農園コラボ河川清掃  
4/7



### 参加人数



198 人

### 回収ごみ量



1,957 kg



改革プロジェクトの環境活動は『TOTO 水環境基金』で助成金をいただき活動しております。

TOTO 水環境基金  
WEB サイトはこちら

# OSAKA MARATHON

## 2018.11.25

大阪マラソン寄付先団体2年目となりました。今年は42人のチャリティランナーが改革プロジェクトから出走しました。



### 大阪マラソンチャリティランナーで参加して



パトラン西尾チーム  
古居 英隆さん



兵庫県在住  
栗谷 泰輔さん



### 大阪マラソン2018Charity Runner

(左ページより)

いしちゃんさん、まるちゃんさん、ゴンさん、はっしーさん、増井隊長  
とりちゃんさん、なかさん、岳伸幸さん、かわさといっしーさん、TOMさん  
くみちゃんさん、しんちゃんさん、あやさん、danteさん、岡田班長さん  
ミキティさん、めぐみさん、たくちゃんさん、ジンさん、うっちーさん  
ブルマンさん、さっこさん、うみもんさん、ゆきもちさん、たかゆきさん  
やまぞのゆりさん、なべっちゃん、いのウェイさん、LOVECOLORさん、あつしまん

(右ページより)

かつちゃんさん、シュウさん、リョータさん、立岩義典さん、HaraYuusukeさん  
とつすいさん、りょうへいさん(事務局)吉田、松田、時安

チャリティランナーのみなさま、大阪マラソンを盛り上げていただき  
本当にありがとうございました!

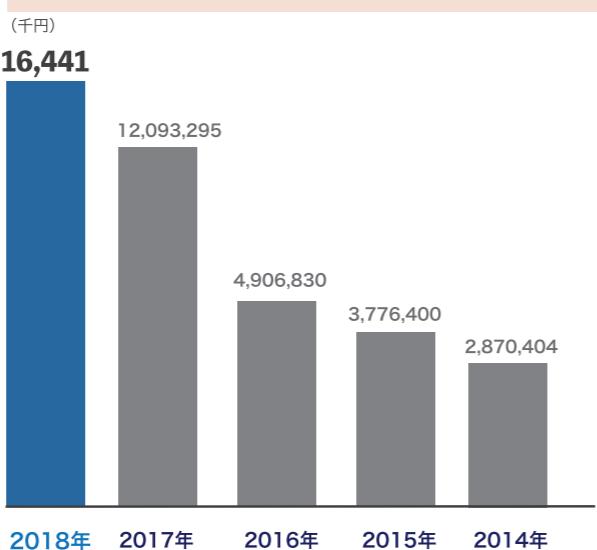
# 決算報告

ご支援いただいた企業・団体・個人の皆さん

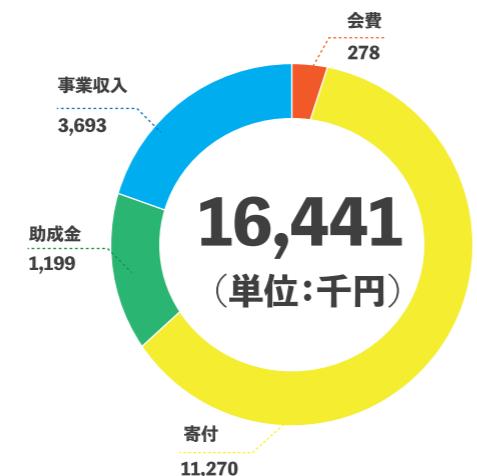
## 1. 活動計算書

科 目	金 額
受取会費／正会員・サポーター	278,000
受取寄付金	11,270,706
受取助成金／助成金・補助金	1,199,540
事業収益	
講演・講師謝金	83,850
物品販売事業	2,782,800
参加費収入	277,500
受託事業収益	473,370
その他収益	76,098
経常収益 計	16,441,864
人件費	3,231,700
通勤費	275,400
売上原価	1,326,667
業務委託費	507,600
消耗品費	483,385
通信運搬費	415,462
旅費交通費	1,919,601
交際費	6,310
諸謝金	78,000
印刷製本費	418,874
会議費	38,284
広告宣伝費	142,644
賞借料	292,484
地代家賃	569,160
水道光熱費	29,421
雜費	118,276
保険料	156,920
研修費	235,705
新聞図書費	5,719
支払手数料	10,179
支払利息	23,286
大阪マラソン出走枠購入	672,000
支払寄付金	613,250
事業費 計	11,570,327
管理費	713,339
経常費用 計	12,283,666
当期経常増減額	4,158,198
法人税・住民税及び事業税	71,000
過年度損益修正益	302,400
当期正味財産増減額	4,389,598
前期正味財産増減額	389,863
次期正味財産増減額	4,779,461

## 過去5年間の収支の推移



## 収入内訳



前年度と比較し寄付の割合が138%と大幅に増えました。大阪マラソンでのチャリティランナーも倍に増え大阪マラソンからのチャリティ寄付の増加、パトランTシャツ購入時の寄付の増加などの影響があります。

## 2. 貸借対照表(2018年3月31日現在)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	321,100
現 金	283,463	未払法人税	71,000
普通 預金	4,995,036	流動負債合計	392,100
現金・預金 計	5,278,499		
(売上債権)		【固定負債】	
未 収 金	97,540	長期借入金	1,539,784
売上債権 計	97,540	固定負債合計	1,539,784
(棚卸資産)		負債合計	1,931,884
棚 卸 資 産	363,306		
棚卸資産 計	363,306	正味財産の部	
流动資産合計	5,739,345	前期繰越正味財産	389,863
		当期正味財産増減額	4,389,598
		正味財産合計	4,779,461
【固定資産】			
(無形固定資産)			
ソフトウェア	972,000		
無形固定資産 計	972,000		
固定資産合計	972,000		
資産合計	6,711,345	負債及び正味財産合計	6,711,345

## 監査報告書

活動計算書と貸借対照表について監査を行いました結果、会計帳簿に記載の金額と一致し、法人の収支の状況を正しく示していることを認めます。

監事 仲西浩一

大阪マラソン2018



SYNERGY  
GLOBAL

LEDLENSER



### 【正会員】

飯野英明様、奥和久様、品川恭徳様、新広行様、林山龍二様、飛永修一様、仲西浩一様  
中野晃浩様、中脇貴裕様、西上原誠様、永井敦様、福島綾子様、福田康則様

### 【個人サポート会員】

金井秀行様、笹野雄二郎様、田嶋秀臣様、始澤萬來女様、花田さやか様、福田善和様、水島直子様、南博様  
大河原宏樹様、杉山一希様、吉富淳思様、沼尾崇様、荒牧静夫様、柴田直彦様、五十嵐與樹様

### 【法人団体サポート会員】

中華菜館五丈原様、有限会社セイソン様、

### 【寄付商品でのご支援】

スマートクール様、中華菜館五丈原様、まごころ厨房居酒屋DICE様、エムエム西日本様

寄付人数

大阪マラソン  
チャリティランナー

104人 42人



活動への多大なるご支援  
ありがとうございました!



認定NPO法人  
ブル・ボランティア

理事長  
岡崎寛さん(右)  
事務局長  
織田智子さん(左)

走ることで社会貢献できるなんてなんて素晴らしい!  
パトランはもはや日本の文化。この活動が日本を健康で元気に、そして安全な街へ。同じスポーツNPOとしてこれからも応援しています。



中華菜館五丈原  
河間 信介さん

パトランという活動を広く知ってもらいたいという思いで支援メニューの提供を始め、当店でパトランを知った多くのお客様から応援のお言葉も合わせて頂いてきました。微力ではありますが、パトランへ恩返しが出来る喜びを感じています。

2019年度よりスマートクール店舗で  
パトラン支援につながる寄付支援サー  
ビスがはじまります!



## きっかけはいつもの カレー屋

5年前、2014年冬、いつものカレー屋で現理事の吉田からパトランニングという活動がわざと切れた端を見せられました。それがパトランと私の出会いです。

ちょうどランニングに興味を持ち始めていた頃でダイエットも兼ねてパトランに参加しました。今やそのダイエットは見事に失敗。

しかし、自分自身、内面は成長できているなど実感しています。

パトランが全国に広がるきっかけとなったのは2014年度の住友生命様のヤングジャパンアクションの大賞受賞でした。いたいたい賞金は活動拡大の大好きな資金となりました。また、フィギュアスケートの浅田真央さんと一緒にパトランができたということもパトランとして大きな宝物となりました。

浅田真央さんをお迎えする際、パトランを簡単に説明する寸劇をしようということで、少し演劇の経験のある私が劇団あかね(当時のパトランメンバーの名前)を立ち上げその役割を受けました。

感しました。立ち上がりがつたチームの早期消滅、参加者離れ。時期的にもいい失敗だったと今振り返る



# 「私とパトラン」

## 高堂 大輔

### パトランで人生が 変わったひとりに。

2016年、さらにパトランは成長していきます。

メンバーニュース、活動実施県の拡大。私たち団体スタッフもその成長を止めない、鈍らせないように必死でした。会議の回数を増やし、次から次へ出てくる課題に対し皆で協議し対応していました。

また、この年はヤングジャパンアクションの報告会があり、浅田真央さん、浅田舞さんと一緒に約1,000名の方々を前にトーケンショーをさせていただきました。私自身、人生で最も度胸が付く経験もありました。

2017年、団体が大阪マラソンの公式寄付先団体として選ばれ関西圏でのパトランの強化につながりました。また資金面からも各事業に投資することができるようになり、順調に活動実施県も増加各チームの運営、特徴も見えるようになってきました。

私自身は2014年にパトランで知り合ったメンバーと結婚しました。パトラン婚第一号です。現在までにパト婚は合計4組います。

### パトランとは何か? を問い合わせ続ける

どこかででできそうなキャッチフレーズのようですが、パトランで人生が変わりました。そして大阪マラソンにチャリティランナーとして皆さんの支援をいただき出走、完走することができました。

2018年前半、ある出来事が起きました。弁護士にも相談し、一団体として慎重に対応を行いました。この事をきっかけに私自身、自分の置かれている立場、責任と改めて向き合うこととなりました。団体としても全国規模で展開している活動の運営を行なっていることまた、その責任とリスクを再確認することができ、気を締め直すよいきつかけとなりました。

2018年後半、認定NPO法人アカツキさんに団体の組織として「立ち止まり対話する」ためのコンサルティングを実施していただきました。偶然にもアカツキさんが同内容で助成金として募集をしていて、前半の出来事もあり、これは巡り合わせだなと感じました。ひたすら走り続けてきた私たちにとって、立ち止まることは非常に要でした。コンサルティングによつて、団体スタッフ間の思いや考え方確認。スタッフそれぞれの役割、団体の中期計画などを中心に話し合い、団体組織として一丸となることができたと感じています。

パトランよ、よくここまで成長してくれたなと思うこと半分、よくここまで私を成長させてくれたなと思うこと半分です。今、改めてパトランとは何だろう?と考えさせられています。パトラン本来の目的である防犯、

私自身はファンデレイジングについて学び準認定ファンデレイザーの資格を取得。団体運営のファンデレイジングに意識が向き始め自身のするべきことが見えてきました。そして、この頃はもう部活ではなく一つの大切な使命、仕事をして自身の気持ちと生活の中に定着しました。今もそうですが脳内で考える時間は本業よりも多くの時間を占めています。

パトランは人と人とのつなぐ「絆」でもあります。人の価値観や正義感が入り乱れる「場」でもあり、地域・人のエネルギーによって姿を変える「生物」であったり、また人生・人間を学ぶ「教科書」であったり。答えは何かはわかりませんが私はそのように感じています。

これから先、5年、10年、20年、100年とパトランが多くの方々とともに成長していくことがとても楽しみです。同時に私たち団体のビジョンである「子どもや女性、お年寄りが安心して暮らせる地域の実現」、スローガンである「犯罪なき世の中へ」を実現していくようにこれからも団体、活動と向き合ふとともに進んでいきます。振り返ると5年、パトランとともに走つてきました。

パトランよ、よくここまで成長してくれたなと思うこと半分、よくここまで私を成長させてくれたなと思うこと半分です。

今、改めてパトランとは何だろう?と考えさせられています。

パトラン本来の目的である防犯、

それが私の劇団旗揚げ解散公演、そしてパトランの運営に携わっていきました。翌年、度より法人理事兼スタッフに就任、現在に至ります。

カレー屋で現理事の吉田からパトランニングという活動がわざと切れた端を見せられました。それがパトランと私の出会いです。

ちょうどランニングに興味を持ち始めていた頃でダイエットも兼ねてパトランに参加しました。今やそのダイエットは見事に失敗。

しかし、自分自身、内面は成長できているなど実感しています。

パトランが全国に広がるきっかけとなったのは2014年度の住友生命様のヤングジャパンアクションの大賞受賞でした。いたいたい賞金となりました。また、フィギュアスケートの浅田真央さんと一緒にパトランができたということもパトランとして大きな宝物となりました。

浅田真央さんをお迎えする際、パトランを簡単に説明する寸劇をしようということと、少し演劇の経験のある私が劇団あかね(当時のパトランメンバーの名前)を立ち上げその役割を受けました。

感しました。立ち上がりがつたチームの早期消滅、参加者離れ。時期的にもいい失敗だったと今振り返る

## スポーツ庁長官賞を受賞 表彰



## 福岡県防犯アドバイザー就任 内部研修



## AKBNファンドで組織基盤を強化 助成金



認定NPO法人アカツキによる新しい取り組み「立ち止まり対話するための助成金AKBN(アケボノ)ファンド」の第1回目の助成団体に採択されました。またアカツキの永田さん、雪松さんには大阪マラソンのチャリティランナーとして大会に出走いただくなど心強い伴走をいただきました。

## 研修事業 内部研修



月に4回、読書した本についてスタッフそれぞれが紹介する研修を始めました。持ち寄る本を通じて様々な知識を学ぶことにつながっています。また、昨期に引き続き、ストレングスファインダーもスタッフ全員が診断を実施。全34の資質を可視化し、お互いの強み、弱みを把握することでチームの基盤強化を目指します。

立花	時安	吉田	高堂	松田
世界一シンプルで科学的に証明された食事人の見分け方	一流になれる人なれない合成生物学の衝撃	単純な脳、複雑な「私」	間取りと妄想	
トラストファクター	嫌われる勇気	年金制度が破綻しないことがよくわかる年金	やさしい行動経済学	見えないチカラとキセキ
ティール組織	性犯罪者の頭の中	14歳から宇宙論	田中角栄100の言葉	プロカウンセラーの聞く技術
ファンベース	ラーリング伝え方の極意	子供はこの場所で育われる	妻のトリセツ	女子高生の裏社会

読書研修で紹介した本の一覧

## 改革プロジェクトのロゴを変更しました!



改革プロジェクト  
KAIKAKU PROJECT

ロゴのモチーフ

団体のモチーフにフクロウを採用しました。

夜行性であり、首の可動領域が広く周囲を見渡せるフクロウは改革プロジェクトとして取り組む防犯を力強く表現してくれます。

## 団体NEWS

## 防犯

## 防犯活動をアップデートする

パトランは全国各地で展開し拡大の一途を辿る一方で、子育て世代や地域活動とは疎遠の市民の認知度はまだ低いのが現状です。パトランの社会的価値をわかりやすく示すことや活動への市民理解を図っていくことはこれからに向けての課題であると捉えています。防犯活動は成果を可視化するのが苦手です。市民主体の防犯活動への関心を高めるには、活動による成果をわかりやすく伝えていくことが欠かせません。それを進めるため、2019年度に新たにパトラン独自の集計システムの導入を予定しています。本システムの利用によりパトランの活動状況を可視化し、防犯活動全体をアップデートさせていきたいと考えています。



## 環境

## 異常気象にどう立ち向かうか

環境問題への社会的関心はグローバルに高まりつつありますが、日本は環境分野への社会的な取り組みはまだ進んでいません。ここ数年の異常気象による被害は甚大です。環境保全への取り組みを国や自治体まかせにすることなく私たち市民ひとりひとりが当事者意識を持つことが必要です。気候変動となるとあまりにも巨大であるがゆえ、尻込みしてしまったり、個人の努力が無意味なことのように感じるかもしれません。しかし、現状を変えるには、現実に向き合い行動するしか打開策はありません。地域の環境美化という身近なところから、市民への環境意識を高めていく活動を実施していきます。



## 防災

## 助け合いのネットワークの形成

2017年の九州北部豪雨を皮切りに九州・西日本では豪雨による災害被害が深刻化しています。また豪雨だけでなく地震や津波と災害はいつ自分の身に降りかかるかはわかりません。何より大事なのは、有事の際に正しい知識を持ち、適切な行動をとれることだと思います。犯罪被害においても、災害においても、自らの身を守るという面で両者は密接に関連しています。全国に点在するパトランメンバーは平時の時同様、災害においても活躍できる重要な人材となります。またパトランで築いた全国各地とのネットワークも役に立つはずです。2019年度は防災分野へもこれまで以上に力を注いでいきたいと考えています。



## 防災士の資格を取得しました



**犯 罪 な き 世 の 中 へ**

